

# 和歌山だよいい

令和4年  
(2022) 6月号



かつらぎあじさい園 (かつらぎ町)

土壤の酸度によって花の色が変わるため、「七変化」という別名もある紫陽花(あじさい)。雨が多く、気分が沈んでしまいそうになるこの季節。様々な色合いを見せてくれる紫陽花を楽しむため、雨の合間に少し散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENTS

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ . . . . . p. 9 ~ 14
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 15



## 嫌われても未来のために

和歌山県もようやく高速道路が次々と完成し、四車線化も進んでまいりました。地域の発展には、その条件として、その地域がどれだけ便利かが問われ、この車時代に高速道路が未完成で不便という地は、企業誘致でも投資でも観光でもどんどん不利に扱われます。それが分かっていたからこそ、あの民主党政権時代の「コンクリートから人へ」の大合唱で足を引っ張られながら、その一日も早い完成に努力し、先日最後の新宮道路の用地幅杭設置式を挙げるに至りました。その式の来賓としてご出席の二階俊博衆議院議員が、遅れた理由の一つは、用地取得に時間がかかり、それは行政が嫌われるのをいやがって法律で定められた取得手続を<sup>しゅんじゅん</sup>逡巡するからだ指摘されました。私はその通りだと思います。

公共事業の場合、話し合いで用地取得が合意できないときは、一定の条件下で収用手続が取れるのですが、行政も政治もなかなかそういう手荒なことはしたがりません。嫌われるのはいやだから、行政の対応は遅れがちになるし、選挙で選ばれる首長は、特に人に嫌われることはしたくないと思われまます。

しかし、それでは進みません。地域の未来の発展のためには、嫌われても我々行政は必要な手続を進めないといけません。私は知事に就任以来、責任は取るから、私の評判が落ちてもいいから話はどんどん進めよう、それが地域と大勢の人の未来に繋がるのだからと職員に言って頑張ってもらいました。トップが波風を立てて嫌われるのがいやで消極的だったら熱心な職員も立つ瀬がありません。

また、嫌われるといえば、先ほどの「コンクリートから人へ」のように、ある時代の支配的な世論（「風」）になっていることも、それに逆らうことは勇気がいります。多くの人に嫌われるからです。しかし、県の未来のためには、勇気をもって主張することも知事の務めだと思ってやってまいりました。あの時、勇気のある政治家も風に逆らってくれました。そして高速道路の建設は進みました。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



5/27 県知事表彰式にて

● 「和歌祭 四百年式年大祭」が執り行われました

「和歌祭」は、紀州徳川家の初代藩主・徳川頼宣が、父・家康を祀るために創建した紀州東照宮において、元和8(1622)年に始められた例大祭です。今年は創始400年の節目となることから、5月15日に「和歌祭 四百年式年大祭」が執り行われました。

祭りは午前中、白装束に身を包んだ担ぎ手が、紀州東照宮の108段の石段を約1トンの神輿を担ぎながら、「チョーサー」という掛け声とともに勇ましく駆け下りる「神輿おろし」で幕を開けました。その後、神輿は和歌山城までの約4.5kmを従来の担ぎ手のほか、大学生や高校生の皆さんによってリレー形式で運ばれました。



神輿おろしの様子



渡御行列の様子

午後からは、和歌山城周辺に舞台を移し、「武者」<sup>むしや</sup>、「雑賀踊」<sup>さいかおどり</sup>、「相撲取」<sup>すもうとり</sup>などの株が、江戸時代から口伝によって継承されてきた伝統の技を披露しながら練り歩く「渡御行列」<sup>とぎよ</sup>が繰り広げられました。また、今回は、地域の子供達や地元企業の方々などが担い手となり復活させた「獅子」<sup>しし</sup>、「童子」<sup>どうじ</sup>、「棒振り」<sup>ぼうふ</sup>の株も加わりました。

さらに、松平健さん扮する八代将軍・徳川吉宗が白馬に跨がって登場し、お祭に彩りを添えるなど、400年という節目にふさわしい大変華やかで見応えのあるお祭となりました。

この「和歌祭」が、伝統的なお祭りを絶やすまいとする先人達のたゆまぬ努力と情熱により400年という長い間継承されてきたことはとても誇らしいことです。

県としましては、旅行需要の喚起を目的としたキャンペーンの推進や、紀州東照宮が構成文化財の一つとなっている日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」など、和歌山県の魅力を積極的に発信するとともに、令和5年「弘法大師空海御誕生1250年」、令和6年「世界遺産登録20周年」、令和7年「大阪・関西万博」の期間を「ダイヤモンドイヤー」と位置付け、コロナ禍からの反転攻勢をめざしていきます。



松平健さん扮する徳川吉宗

●令和4年和歌山県知事表彰式を開催しました

5月27日、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して「令和4年和歌山県知事表彰式」を開催し、42名・5団体の方々を表彰しました。

県では、公共の福祉増進に功労があった方やその他広く県民の模範となるべき方の功績の顕彰を目的として昭和28年に「和歌山県知事表彰」を制定しており、今回で70回目を数えます。これまでに延べ5,236名、306団体の方々を表彰してきました。



各功労部門の代表者への表彰状授与の様子

式典では、司会者から受賞者の方々の御功績を紹介し、各功労部門の代表者の方に知事から表彰状と記念品をお贈りしました。続いて、教育、文化等の振



美山さんによる代表挨拶の様子

興に功績のあった美山良夫さん（慶應義塾大学名誉教授）と産業の振興に功績のあった辻曙生さん（Wakayama T&M 名誉会長）のお二方から、受賞者代表として、受賞の喜びとともに、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちや今後の決意と抱負が述べられました。

受賞者の皆さんのこれまでの本県への多大な御尽力に深く感謝いたしますとともに、県では、受賞者の皆さんの御協力も得ながら、今後も県の発展に向けて様々な施策に全力で取り組んでいきます。

【和歌山県知事表彰受賞者の皆さん（順不同・敬称略）】

<b>地方自治の振興</b>	市町村長や議員などとして長年にわたり地方自治の発展に尽くされた方々	
竹中 圓也 / 福田 安雄 / 松下 元 / 松見 弘		(4名)
<b>保健福祉の増進</b>	民生委員・児童委員や医師などとして長年にわたり地域の福祉や医療、保健の発展と向上に尽くされた方々	
井内 洋 / 岩橋 秀樹 / 上住 道宣 / 北川 淳三 / 北原 文子 / 栗山 仁美 / 中嶋 滋 / 西岡 正好 / 山口 美和子		(9名)
<b>環境衛生の向上</b>	生活・食品などの衛生水準の向上等を通じ、環境衛生の充実に尽くされた方	
木村 守		(1名)
<b>暮らしの安全及び向上</b>	地域の防災、防犯、交通安全指導などを通じ、県民生活の安全を確保し、その向上に尽くされた方々	
堀切 好治 / 小浦 正臣 / 中村 紀子 / 仁木 千恵子 / 自治会自主防災会・臨海企業連絡会 / 池田 晴彦 / 金子 賢次		(6名・1団体)
<b>教育、文化等の振興</b>	私学振興、文化を通じた地域の振興、国際交流、青少年の育成、人権啓発の推進などに尽くされた方々	
中谷 泰子 / 美山 良夫 / 村瀬 憲夫 / スミット マリック		(4名)
<b>産業の振興</b>	商工業、農林業、建設業など各分野での活動を通じ、業界の振興及び育成発展に尽くされた方々	
榎本 盛一 / 大和田 隆栄 / 長村 恵弐 / 関 康之 / 津井 克巳 / 中尾 幸三 / 藤代 強 / 前川 俊次 / Wakayama T&M / 橋爪 正芳 小森 清志 / 紀州木材緑友会 / 久保 公一 / 鈴木 恒雄 / 的場 延武 / 東 宗弘 / 鈴木 啓司 / 吉本 忠生		(16名・2団体)
<b>ボランティア</b>	精力的なボランティア活動により住民福祉の発展に尽くされた方々	
宮崎 外治 / 和歌山県腹話術協会		(1名・1団体)
<b>地域おこし</b>	様々な分野での新たな取組により地域の活性化に尽くされた方々	
鈴木 博之 / NPO太田の郷		(1名・1団体)

●紀伊半島一周高速道路の実現へ更に前進 — 一般国道42号 新宮道路 用地幅杭設置式を開催 —

令和元年度に事業化され、これまで調査設計を進めてきた一般国道42号新宮道路の、本格的な事業着手と事業の円滑な推進に向け、5月28日、新宮市立総合体育館で「紀伊半島一周高速道路（近畿自動車道紀勢線）」の和歌山県側では最後となる「用地幅杭設置式」が行われました。



1日も早い完成を願って用地幅杭打設を行いました

式典では、来賓として二階俊博衆議院議員、森礼子和歌山県議会議長をはじめ関係者の方々にもご出席いただきました。また、榎本鉄也新宮市議会議長による「がんばろう三唱」で、地域のより一層の発展のため、一刻も早い完成に向けて取組を進めていくことを参加者全員で決意しました。

新宮道路は、近畿自動車道紀勢線の一部を構成する、新宮市あけぼのから同市三輪崎に至る延長4.8kmの自動車専用道路です。また、三重県紀宝町から新宮市あけぼのに至る新宮紀宝道路は、令和6年秋の全線開通が予定されており、工事が進められています。

現在、新宮市から三重県紀宝町までの地域は、国道42号が唯一の幹線道路となっており、日常的な交通渋滞が発生しています。

新宮道路及び新宮紀宝道路の完成により、地域の救急医療体制の観点からは、新宮市立医療センターといった高度な医療を提供する医療機関に、県境を越えてより多くの方を速やかに搬送することが可能となるとともに、大規模災害時

における避難路の確保や緊急車両の通行のために機能する、地域住民の安全と安心につながる命の道として、大いに期待されています。

さらに、新宮道路を含む近畿自動車道紀勢線の整備によって、周遊観光ネットワークが形成され、広域的な観光周遊性が向上することで、観光客など交流人口の増加が期待されています。



周遊観光ネットワーク

南紀熊野ジオパーク、熊野那智大社、熊野速玉大社などの魅力的な観光資源が数多くある本県にとって、大きな経済効果と地域の活性化につながるものと考えています。



● 県立串本古座高等学校で第1回「宇宙講座」が開催されました

県では、宇宙に興味・関心をもつ生徒を全国から呼び込み、生徒の確保を図るとともに、地域と連携した取組等を活かしながら、未来を切り拓く人材の育成と紀南地域の活性化につなげるため、令和6年度から県立串本古座高等学校に「宇宙探究コース」を新設することとしています。



生徒達は熱心に講演に聴き入りました

同校では、宇宙探究コースの設置に向け、令和4年度から総合的な探究の時間において、宇宙関連学習を実施しています。このたび、第1回の「宇宙講座」を5月11日に開催し、有人宇宙システム株式会社まえむらたかしの前村孝志つちだあきら常務取締役と土田哲安全開発・ミッション保証部主席を講師に招き、「宇宙におけるコミュニケーションスキルーフライトディレクターの視点から」をテーマに、宇宙の基礎知識や国際宇宙ステーションの紹介及び宇宙での生活についてご講演いただきました。受講後の生徒達からは、「宇宙が身近に感じられるようになって、少し不思議な気持ちになった」、「宇宙では、国境関係なく外国の方と交流があるのがいいと思った」、「串本町からロケットが飛ぶ日が楽しみ」といった声が聞かれました。

また、同校における宇宙教育活動に関連して、県及び県教育委員会は4月27日にスペースワン株式会社とよだまさかず（豊田正和代表取締役社長）と連携協定を締結しました。

スペースワン株式会社は、串本町で民間初の小型ロケット発射場「スペースポート紀伊」を運営する会社であり、今年中に小型ロケット「カイロス」初号機の打ち上げが予定されています。



スペースワン(株)との連携協定締結の様子

協定の内容は、①授業や部活動への講師派遣、②教職員を対象とした研修支援、③授業に必要な機器や設備等の助言、④スペースポート紀伊の見学機会の提供です。

県としましては、引き続き宇宙人材の育成に向けた取組を推進するとともに、宇宙を核とした産業振興や地域発展をめざしていきます。

●ヒジキの人工種苗育成が順調に成果を上げています！

近年、県では海水温の上昇などにより、ヒジキの収穫量が減少しています。そこで県水産試験場は、「天然ヒジキ増産に向けたヒジキ移植技術の開発」をテーマに、平成30年から技術開発を続けてきました。



成長した移植ヒジキ

試行錯誤を繰り返した結果、コンクリートレンガに毛糸を付加した移植用基質を使用

することで、より効率的にヒジキの種苗の移植が可能となることが判明しました。さらに、昨年度県内3箇所ですべて上記技術を活用して人工種苗の移植を行った結果、天然のヒジキと遜色ない成長を確認しました。

今後は、これまでの研究成果を踏まえ、現場の漁業関係者などから頂いた意見や要望をもとに更なる改良を重ね、技術の普及並びにヒジキの増産につなげていきます。

●柿の収穫量 43年連続日本一！みかんの収穫量 18年連続日本一！！

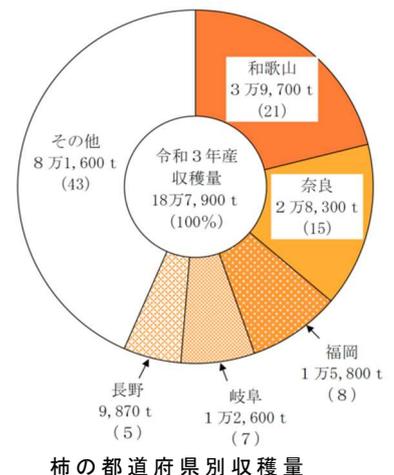
先ごろ、近畿農政局から令和3年産の柿の収穫量及びみかんの収穫量が発表され、和歌山県が柿で43年連続、みかんで18年連続の全国1位に輝きました。

和歌山県の柿の収穫量39,700tは、全国の21%を占めています。また、県では令和3年に甘柿の新品種「紀州あかね」を開発しました。「紀州あかね」は、果皮は紅橙色、果実重は250～300g程度で、糖度は17%前後、シャキシャキとした食感で食味が良いのが特長であり、令和7年秋以降の収穫開始をめざしています。今後、柿産地としての和歌山の名を更に盤石なものとするため、平成29年に開発した「紀州てまり」と共に、柿の県オリジナル品種として普及に取り組んでいきます。



食味が優れ、果皮色の濃い「紀州あかね」

柿は1個で1日に必要なビタミンCをほぼ摂取できるほど栄養豊富な果物で、「柿が赤くなると医者が青くなる」と言われる所以です。また、秋には紀の川両岸の丘陵地帯で、大きく色付いた柿が辺り一面を彩ります。まだ先の季節ですが、秋の風情を味わいに、ぜひ和歌山へお越しください。



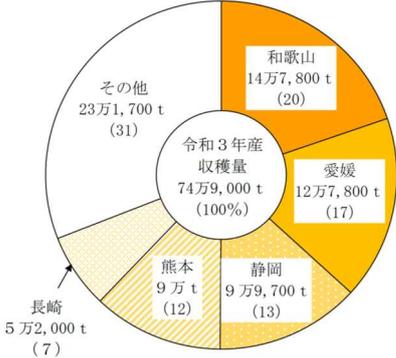
# 今月の和歌山県政トピックス

続いて、和歌山県のみかんの収穫量 147,800t は、全国の 20% を占めています。また、県では、みかんの他平成 30 年に柑橘新品種「はるき」を開発しており、令和 8 年頃からの果実出荷・販売をめざしています。



さくさくとした食感の「はるき」

さらに、日本農業遺産に認定されている「下津蔵出しみかんシステム」（海南市下津地域）と「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」（有田地域）を融合した、「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」の世界農業遺産認定をめざして、5月26日に、県や両地域の市町、農協等により「有田・下津地域世界農業遺産推進協議会」を設立したところであり、令和6年2月の認定に向けて取り組んでいきます。



みかんの都道府県別収穫量

## 「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」概要

長峰山脈を挟んで隣接する有田地域、下津地域は、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き上げ、江戸時代には日本で初めての共同出荷組織「蜜柑方」を組織しました。

自然条件を巧みに活かし多様な品種系統を導入し、貯蔵技術も駆使しながら、年内の有田みかん、年明けの下津蔵出しみかんという長期リレー出荷を実現し、現在に至るまで継承されている世界的に重要な農業システムです。

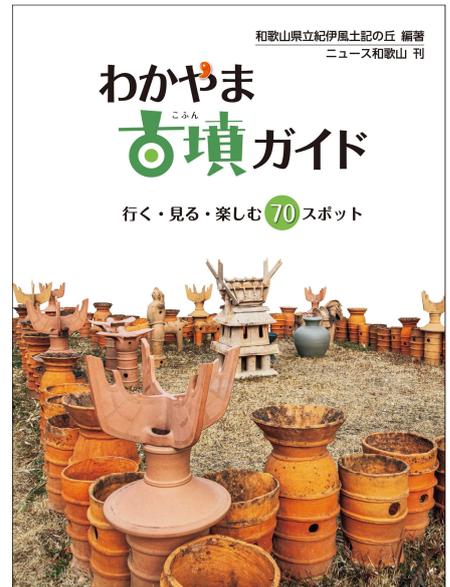


「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」

●「わかやま古墳ガイド～行く・見る・楽しむ 70 スポット～」が発行されました

このたび、県立紀伊風土記の丘学芸員が執筆編集し、和歌山県の代表的な古墳の魅力を分かりやすく解説した初のガイド本「わかやま古墳ガイド～行く・見る・楽しむ 70 スポット～」が、ニュース和歌山株式会社より発行されました。

和歌山県内には約 1,700 基の古墳があるとされています。本ガイド本では、総数約 900 基もの古墳を擁し、国の特別史跡にも指定されている「岩橋千塚古墳群」(和歌山市)や各地域の古墳を写真やイラスト・地図を使って紹介しています。翼を広げた鳥形埴輪や両面人物埴輪が出土した「大日山 35 号墳」、県内最大級の円墳であり、国内唯一の金製勾玉が出土した「車駕之古址古墳」(和歌山市)など古墳 70 スポットを現地取材を元に学芸員が解説を作成しました。



「わかやま古墳ガイド」表紙



各古墳の特色等を分かりやすく解説

和歌山県には今から 1,800 年前～1,400 年前の遙か昔に築かれた古墳が身近に残されています。本ガイドをご活用いただき、これらの古墳の魅力や奥深さに触れていただくとともに、大人から子供まで実際に古墳を訪れて更に理解を深めていただければと思います。

また、県立紀伊風土記の丘の資料館では、古墳群から出土した埴輪や生活用具などの考古資料・民俗資料を展示していますので、ぜひお越しください。



大日山 35 号墳の墳丘全景



大日山 35 号墳から発見された形象埴輪群(重要文化財)

## ●「コレクション展 2022—春夏 特集 生誕 130 年 田中恭吉」が開催中

県立近代美術館では、和歌山ゆかりの作家についての展覧会と作品収集を中心に、日本画、洋画、彫刻、版画など総数 10,000 点を超える作品を収蔵しています。コレクション展では、これら所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、様々な特集コーナーを設けながら魅力的な作品の紹介を行っており、現在は「コレクション展 2022—  
春夏 特集 生誕 130 年 たなかきょうきち 田中恭吉」を開催しています。



《少女》1914 年

田中恭吉は 1892 年に和歌山市に生まれ、東京美術学校（現・東京藝術大学）に入学して美術の道<sup>おんちこうしろう</sup>を歩み始め、恩地孝四郎<sup>たけひさゆめじ</sup>や竹久夢二と交流して彼独自の

ペン画などに才能を発揮します。県立近代美術館には、田中恭吉の初期から晩年までの代表作をはじめ、スケッチや書簡、詩歌原稿等の資料も含め、約 1,000 点が収蔵されていますが、今回のコレクション展では、その創作のプロセスやイメージの展開を辿れるような約 80 点を紹介しています。

田中恭吉はわずか 23 歳という若さで肺結核によりその生涯を終えました。自らの死を悟りながら、ふるえるような感情を表現した作品をぜひご覧ください。



《飛び去る前》1914 年

## 【開催概要】

会 期 令和 4 年 4 月 29 日（金・祝）～ 7 月 3 日（日）

開館時間 9 時 30 分～17 時（入館は 16 時 30 分まで）

休 館 日 毎週月曜日

入 館 料 一般 350 円 (270 円) ・ 大学生 240 円 (180 円)

\* ( ) 内は 20 名以上の団体料金

\* 高校生以下、65 歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料

\* 6 月 25 日 (毎月第 4 土曜日) は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

\* 7 月 3 日 (毎月第 1 日曜日) は全館無料

## ●サマータイムレンダ TVアニメ化記念企画 — デジタル旅雑誌「聖地・和歌山の旅」が公開中です —

県及び県観光連盟では、和歌山市の友ヶ島をモデルとした田中靖規<sup>たなかやすき</sup>さん原作漫画「サマータイムレンダ」のTVアニメ化記念企画として、デジタル旅雑誌「聖地・和歌山の旅」を作成し、県観光連盟のホームページで5月20日より公開しています。

旅雑誌では、物語の主要キャラクターである小舟潮<sup>こふねうしお</sup>役・声優の永瀬アンナ<sup>ながせ</sup>さんと小舟漣<sup>こふねみお</sup>役・声優の白砂沙帆<sup>しらすさほ</sup>さんのお二人が、物語の聖地である友ヶ島などを巡り、和歌山市内の魅力をふんだんに紹介しています。また、和歌山市内にとどまらず、県内全域へ訪れていただけるよう、日本一のパンダの飼育頭数を誇る白浜町や県内各地のインスタ映えスポットも紹介しています。

県及び県観光連盟としましては、今回の「サマータイムレンダ」TVアニメ化記念企画など、和歌山を全国にPRするための取組を引き続き行っていきます。



「聖地・和歌山の旅」表紙

### 「TVアニメ「サマータイムレンダ」ストーリー」

物語の舞台は、和歌山市の友ヶ島をモデルに描いた「日都ヶ島」。主人公の網代慎平は、幼なじみの小舟潮の訃報を聞き、生まれ育った日都ヶ島に帰郷する。潮の死が事故ではなく他殺かもしれないと聞かされ、また、影を見たら死ぬという「影の病」のうわさも…。何度もタイムリープしながら、「影」の謎を解き明かしていくSFサスペンス物語。

ひとがしま

#### 【放送情報】

関西テレビ 毎週木曜日26時55分～ / TOKYO MX・BS11 毎週木曜日24時～  
九州朝日放送 毎週水曜日25時40分～ 放送中  
ディズニープラスやTver等でも配信中

### 「サマータイムレンダ×和歌山県」ページ

<https://www.wakayama-kanko.or.jp/features/summertimerending/>



友ヶ島 第3砲台跡



めでたいでんしゃ



足湯

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の御案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品をぜひご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス

ふるなび

ANAのふるさと納税

ふるラボ

JALふるさと納税



\*\*\*\*\* ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては \*\*\*\*\*

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。</li> </ul> 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドマスターズゲームズ関西</li> <li>全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会等の開催をすすめます。</li> </ul> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> <li>県立図書館の蔵書の充実をすすめます。</li> </ul> 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白良浜海水浴場</li> <li>片男波海水浴場などの砂浜の整地をすすめます。</li> </ul> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くなる方が多い県です。がんになっても安心して治療を受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。</li> <li>若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。</li> </ul> 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国・県指定文化財の建築物修理や史跡整備等を支援します。</li> </ul> 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。</li> </ul> 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌浦地区等のぐんぐん虫防除対策をすすめます。</li> </ul> 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参詣道の維持管理・パトロールを行います。</li> <li>世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。</li> </ul> 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大な壮麗なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。</li> </ul> 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。</li> </ul> 	<p>14 わかやまの農林水産業の振興</p> <p>和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。</li> <li>農林水産業の生産性の向上をすすめます。</li> <li>農林水産業の魅力を国内外へ発信します。</li> </ul> 

※ 寄附事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

## ●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

大手ショッピングモールサイトと自社のサイトで同時に販売しているなど、同一の商品について販売サイトが複数ある場合は、商品購入用リンクを並列して複数掲載し、消費者の好みに合わせて購入できるようにしています。

6月に入り「桃」の収穫がはじまりました。県での歴史は古く300年も前から紀の川市桃山町にて栽培されていたとされています。本サイトでも桃やその加工品など様々な関連商品をご紹介します。

「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



<おいしく食べて和歌山モールはこちら>  
<https://oishii-wakayama.com/>



**イベント情報（7月上旬～8月上旬）**

\* 新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・期間	行事名	場所	問い合わせ先
7月上旬	たなばた祭り	淡嶋神社 (和歌山市) 紀三井寺 (和歌山市) 藤白神社 (海南市)	淡嶋神社 073-459-0043 紀三井寺 073-444-1002 藤白神社 073-482-1123
7月中旬	那智の火祭	熊野那智大社 (那智勝浦町)	熊野那智大社 0735-55-0321
7月下旬	天神祭	和歌浦天満宮 (和歌山市)	和歌浦天満宮 073-444-4769
8月上旬	紀州おどり 「ぶんだら節」	和歌山城周辺 (和歌山市)	紀州おどり実行委員会 073-435-1234

**自然・風物情報（7月上旬～8月上旬）**

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
7月上旬	ハマユウ見頃	番所庭園(和歌山市) 白良浜(白浜町)	番所庭園 073-444-6533 白浜町観光課 0739-43-6588
7月中旬	サンゴの産卵	串本海中公園センター他 (串本町)	串本海中公園センター 0735-62-1122
7月下旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町各地	JA 紀州みなべいなみ 梅部会 0739-72-1174
8月上旬	ぶどう狩りオープン	有田巨峰村 (有田川町) 紀南観光ブドウ園 (田辺市)	有田川町商工観光課 0737-52-2111 紀南観光ブドウ園 0739-24-2305

～編集後記～

和歌山も雨の日が多い季節になりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

気象予報では、「日中の蒸し暑さ」を表す「不快指数」という言葉が聞かれるようになりました。梅雨時は、蒸し暑く、じめじめして普段よりもイライラ度もあがっている方もいらっしゃるかもしれません。

イライラしたとき、何かに怒りの感情を持ちそうになったとき、みなさまはどのようにされていますか。私は、「おおらかになる かきくけこ」を思い出すことにしています。いつ、どなたから教えてもらったかも忘れてしまいましたが、その「かきくけこ」とは、

【か】 かっかしない

【き】 きにししない

【く】 くヨクヨしない

【け】 けんかしない

【こ】 コセコセしない このような感じだったと思います。

覚えやすいですね。そして、「まあいいか」と気持ちを切り替えることができます。健康長寿のためにもいいかもしれません。

健康長寿といえば、私は、紀州南高梅の梅干しをほぐして、和歌山でとれたしらすといっしょにいただいています。梅干しは、健康にいいことはご存じの方も多いと思いますが、最近、梅干しを作るときに梅から出てくる「梅酢」に含まれる「梅ポリフェノール」が体によくて新型コロナウイルスの感染を阻害する効果もあるとの研究結果が注目されています。安価で体に優しい「梅酢」、いろいろないただき方を試してみたいと思っています。みなさまもよろしければ、お試してください。

みなさまのお住まいの地域でも、雨の季節を迎えたことと存じます。どうぞお健やかに過ごしてください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、ぜひご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）6月 NO.170

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026